



## 【重要】壁・天井への固定ネジについて

壁・天井への固定用ネジは、取り付け面の材質や構造によって使用するネジの種類が異なるため、付属していません。

壁・天井の材質に適したネジをお選びいただくために、材質ごとのネジの選び方などをご紹介します。

### ✓ 壁・天井の材質と構造確認

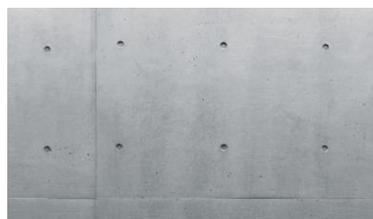
#### 1. 見た目を確認



クロスが張られた【石膏ボード】

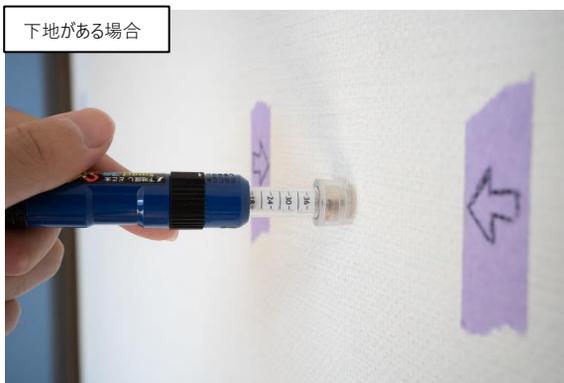


【木製壁】



打ちっぱなしの【コンクリート壁】

#### 2. 細い針などを刺してみる



細い針を壁の目立たない場所に刺してみます。 ※ 下地センサー (針タイプ) 使用

下地がある場合、針が刺さり、途中で止まります (15mmから25mm程度)。

その場合、コンクリート壁や木製壁にクロスを貼っている場合が多いです。

また、先端部分を見て白い粉がついていれば石膏ボードの壁、粉がつかない場合は、木材の壁に壁紙を貼っていると考えられます。

下地がない場合、針がズブズブと全部入ります。すぐく分かりやすいです。

# 【参考】壁・天井の材質にあったネジの選び方

壁・天井への固定に使用するネジは、一般的に4～5cm程度の長さがあれば大丈夫です。

ただし、取り付け面の材質や下地の状態によって耐荷重が異なりますので、ご注意ください。

例えば、ピクチャーハンガー、インテリア・アンカーで取り付ける石膏ボードの壁は、木材やコンクリートの壁に比べ耐荷重性に劣ります。

ネジの太さは、付属の壁固定具の穴の径よりも細いもの、ネジ頭は固定具の穴の径よりも大きいものを選択してください。



① 石膏ボード

## ネジ種類：下地によって異なります

石膏(せっこう)を主成分とした材料で、日本の戸建てやマンションによく使われています。

壁の裏側に下地の入ったところ以外の部分は中空構造です。

表面の石膏ボードは崩れやすくネジが効かない為、下地の入った位置にネジを打つ必要があります。

下地となる素材は、木材や金属、コンクリートなどがあります。

ネジを打つ時は、下地の材質に合ったネジやプラグを使用してください。



② 木製壁 (石膏ボード下地の場合)

## ネジ種類：木ネジ(もくねじ)

厚みのある木材の壁や、石膏ボードの下地が木材の場合には、木ネジというネジで直接打ち込むことができます。

ほとんどの場合、下穴を開けたりプラグを使用する必要はありませんが、厚みが11mm以下の場合には、石膏ボードに固定する際と同じように、壁の奥の下地材に対して固定をおこなってください。



③ コンクリート壁 (石膏ボード下地の場合)

## ネジ種類：コンクリート用アンカープラグ

コンクリートは素材がくずれやすくビスが効きづらいため、プラスチック製やナイロン製のコンクリート用アンカープラグが必要です。

プラグが広がり隙間を埋めるため、しっかりと固定されます。



④ 金属 (石膏ボード下地：軽量鉄骨の場合)

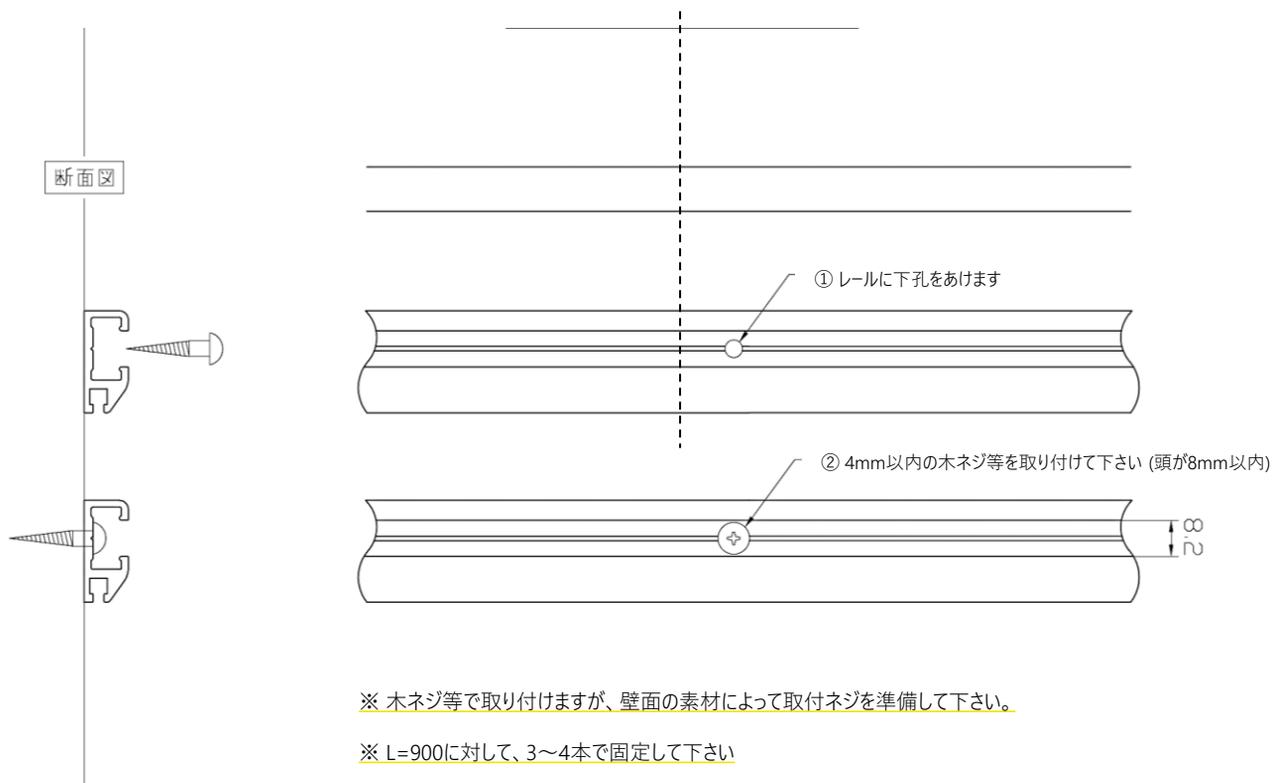
## ネジ種類：タッピングネジ

石膏ボードの下地がLGS（軽量鉄骨）など金属の場合は、首までネジ山のあるタッピングネジを使用します。

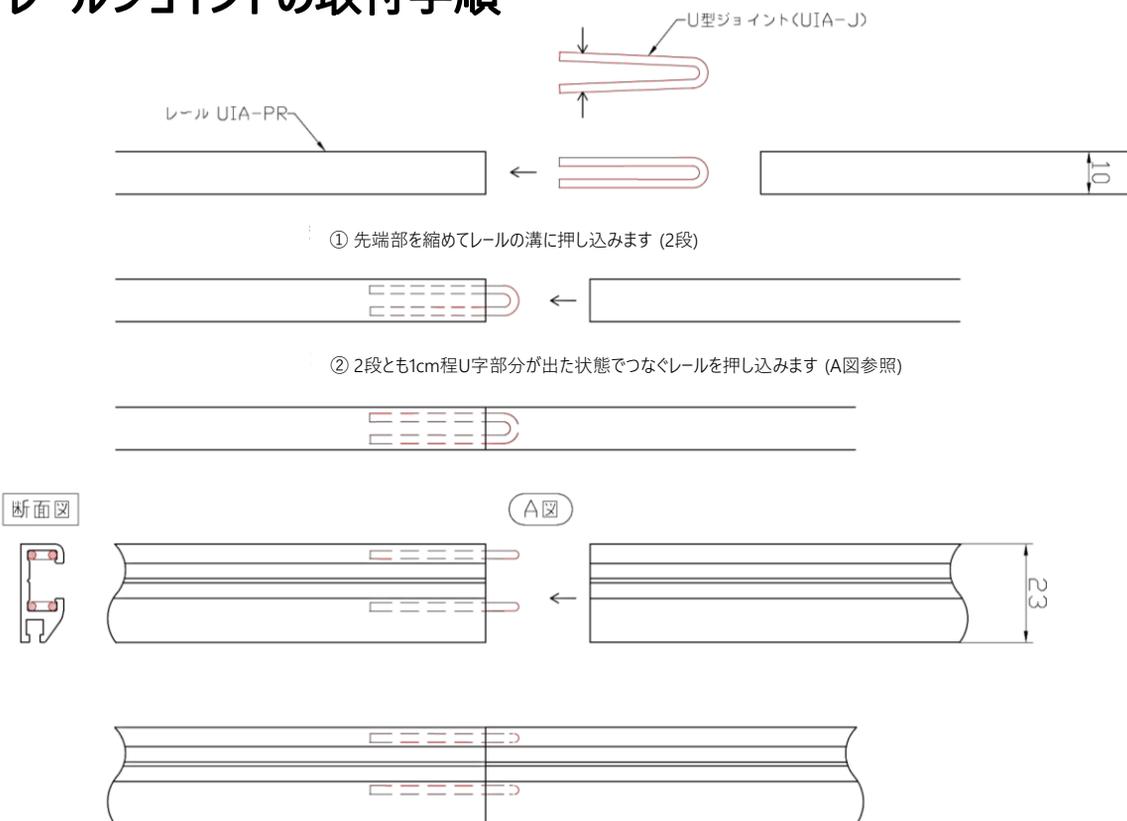
ドリルでネジの径よりも小さな径で下穴を開け、電動ドライバーを使用してネジを締めましょう。



## レールの取付手順



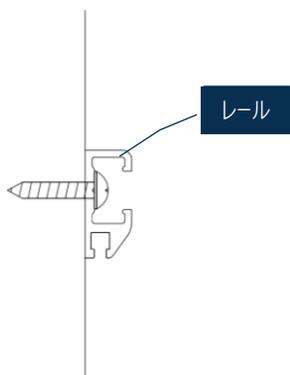
## レールジョイントの取付手順



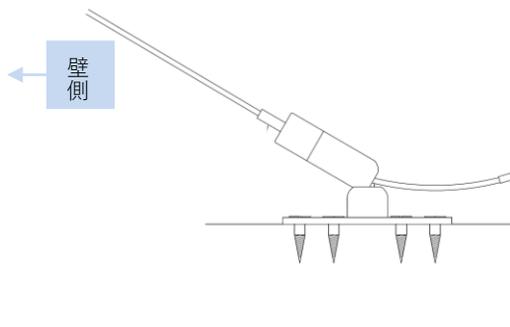


## 家具ストッパーの取付手順

1



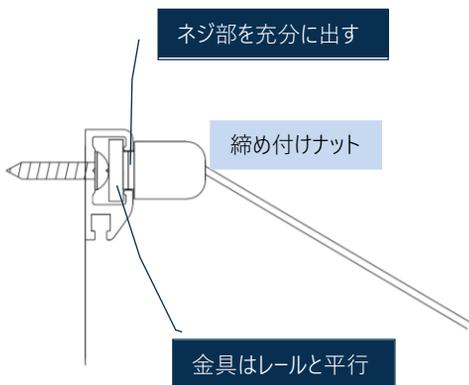
2



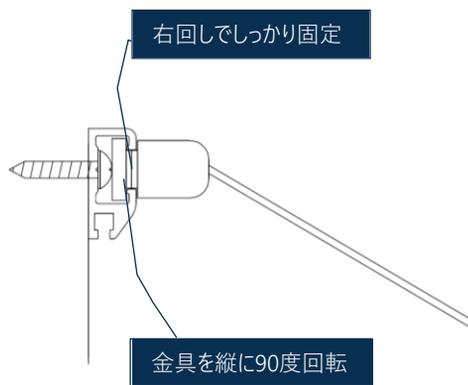
① レールを取り付ける際、下地の位置を確認し、ネジが効く場所に取り付けます

② 家具の天板前縁角部に家具ストッパーをビスで取り付けます。最も強度の高い、天板と側板が重なる部分に取り付けます

3



4



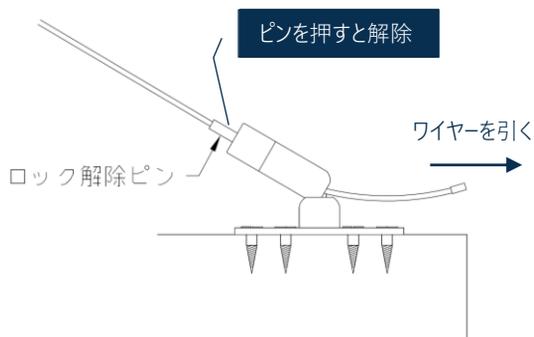
③ レールにアタッチメントの金具を横にし、差し込みます。この時、アタッチメントの締め付けナットを左回しで緩め、ネジ部を充分に出してください。

レールの途中からでも、アタッチメントの差し込みは可能です

④ アタッチメントを家具の固定させたい位置に取り付けます。レール内部の金具を縦にし、アタッチメントの締め付けナットを右回しで固定させます。

アタッチメントの固定後、レール両端部にエンドキャップを装着します

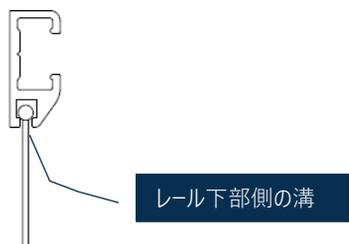
5



⑤ 家具ストッパー側のワイヤーを引き、家具をしっかり固定させます。

# ピクチャーレールの取付手順

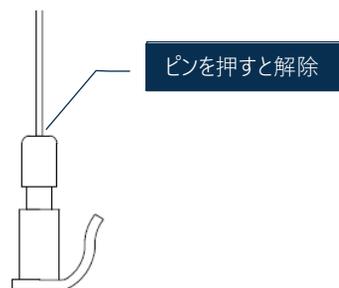
1



① エンドキャップを外し、下部側の溝にワイヤー端部のボールを挿入させます

② ピンの操作で上下の位置を調整します

2



## 注意事項

- 下地が異なりますので、レール取付ビスは含まれておりません。壁材に合ったビスをご選択下さい。  
推奨：φ3.5～φ4.0 長さ30mm以上
- 下地位置が異なりますので、レールへの穴あけは行っておりません。下地位置をご確認の上、穴あけをお願い致します。  
推奨：4.5mm～5.0mmの穴あけを電動ドリルなどで行って下さい
- レール取付ビスは通常、L=2,000に対して@450程度でのビス止めを推奨しております。
- 家具ストッパー UIA-S Aの取付ビスは含まれておりません。1組に対し、必要ビスは4本になります。  
家具材質にあったビスを選定ください。
- 家具ストッパー UIA-S Cの取付M10ボルトは含まれておりません。1組に対し、必要ボルトは1本になります。  
家具材質にあったビスを選定ください。
- レールを取付ける際は、下地の位置を確認し、必ずネジが利く場所に取付けてください。
- ネジの利き具合が安全強度に影響しますのでご注意ください。
- 取付場所によっては、専用の金具が必要になります。
- 家具ストッパーの家具側のワイヤーはグリップ部から充分に出した状態でご使用ください。  
グリップから出るワイヤーがぎりぎりだと強度が保てないことがあります。
- 施工後、グリップがロック状態になっているか確認してください。
- グリップ部及びワイヤーに塗料や油などを塗らないでください。
- 壁の材質により取付方法が異なります。
- 施工は専門の工務店へご相談ください

## 取付の注意

- 壁面とワイヤーの設置角度は、15度以内が奨励されております。
- 誤って取付けた場合は、充分に強度が保てないことがあります。
- 誤って取付けた場合の破損や事故に対しての一切の責任は負えません。
- 本製品は家具の揺れを最小限にし、家具の転倒を防ぐことが目的です。